

都市再生整備計画

ほんだえきしゅうへんちく
誉田駅周辺地区

ちば ちば
千葉県 千葉市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|---------------------|------|---------------------|-----|--------------------------|----|---------|
| 都道府県名 | ちばけん 千葉県 | 市町村名 | ちばし 千葉市 | 地区名 | ほんだえきしゅうへん ちく 菅田駅周辺地区 | 面積 | 29.6 ha |
| 計画期間 | 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 | 交付期間 | 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 | | | | |

目標

大目標：菅田駅を核とした交通結節点の強化及び地域の生活環境や利便性向上

目標1：交通機能の改善整備及び強化

目標2：地区内の円滑な交通処理と安全な居住環境の確保

目標3：歩行者の安全確保及びバリアフリー化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

菅田駅周辺地区は、駅南側の主要地方道千葉大網線と菅田駅を中心に栄えてきた地域であり、千葉市緑区の地域拠点に位置付けられている。

しかし、駅周辺は、無秩序に市街地が形成されてきたスプロール住宅地であり、狭い生活道路が多く、根幹的な道路整備が遅れており、さらにJR外房線菅田駅は、市内JR18駅の中で唯一の地平駅であり、改札口・駅前広場とも南口のみのため、北側市街地からの鉄道利用は迂回を強いられ利便性に劣り、南北分断が地域活性化の妨げとなっていた。また、バス等の交通結節機能が面積の狭い南口駅前広場に集中しているため、南口駅前広場内の車動線の輻輳、歩行者通行の安全性の問題や、駅周辺への幹線道路の集中による十文字踏切等での著しい交通混雑が発生していた。

この混雑により狭い生活道路では元来の防災上の問題のほか、通過交通が多く流入することによる居住環境上の問題も生じていた。このほか駅周辺の幹線道路に歩道がないことから、小学校への児童の通学等、歩行者・自転車通行の安全性が損なわれていた。

一期目は、このような問題の解決を目指し、交通結節機能と道路網の改善により、まちづくりを推進するため、千葉市では、本地区を「千葉市交通バリアフリー基本構想」の重点整備地区に位置づけ、また、平成13年度からの「千葉市新5か年計画」において、菅田駅の橋上化、南北自由通路及び地区内の幹線道路の整備を位置付け、平成17年度から平成21年度にかけて、これらの整備を推進してきた。

二期目へ向けた現状としては、駅の橋上化、南北自由通路、北口駅前交通広場及び地区内の幹線道路の一部整備により、鉄道による南北分断の解消や交通結節点の機能向上が図られたものの、地区内の幹線道路の整備の遅れにより、現在も、狭い生活道路での防災上の問題、及び通過交通の流入による居住環境上の問題がある。

また、駅周辺の幹線道路に歩道が無いことから、地区に隣接する小学校への児童の通学等、歩行者・自転車通行の安全性が損なわれているが、このことは一期目の事後評価においても指摘されており、早急な対応が求められる。

課題

① 交通機能の整備及び強化

地区内幹線道路の整備の遅れにより、駅へのアクセス性が充分確保されていない。

② 道路交通混雑の緩和と住宅地内通過交通の削減

市道菅田町215号線や菅田駅北口線等の幹線道路が整備されていないため、十文字踏切付近の交通渋滞を招いており、さらに、狭い生活道路へ通過交通が流入している。

③ バリアフリーの推進

「千葉市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定経路を含め、重点整備地区内の主要道路における歩道整備を推進する必要がある。（歩行面の平坦性確保・透水性舗装・電線類の地中化）

④ 防災性の向上

道路が狭く、防災機能が劣っている。

⑤ 通学路の安全性の向上

地区の傍に小学校があるが、児童が安全に通学できる歩道が設置された幹線道路が不足している。

将来ビジョン（中長期）

自然と調和したまちづくりをコンセプトに、駅へのアクセスを確保するための道路整備の推進により、利便性・防災性の高い良好な居住環境の確保を図る。

目標を定量化する指標

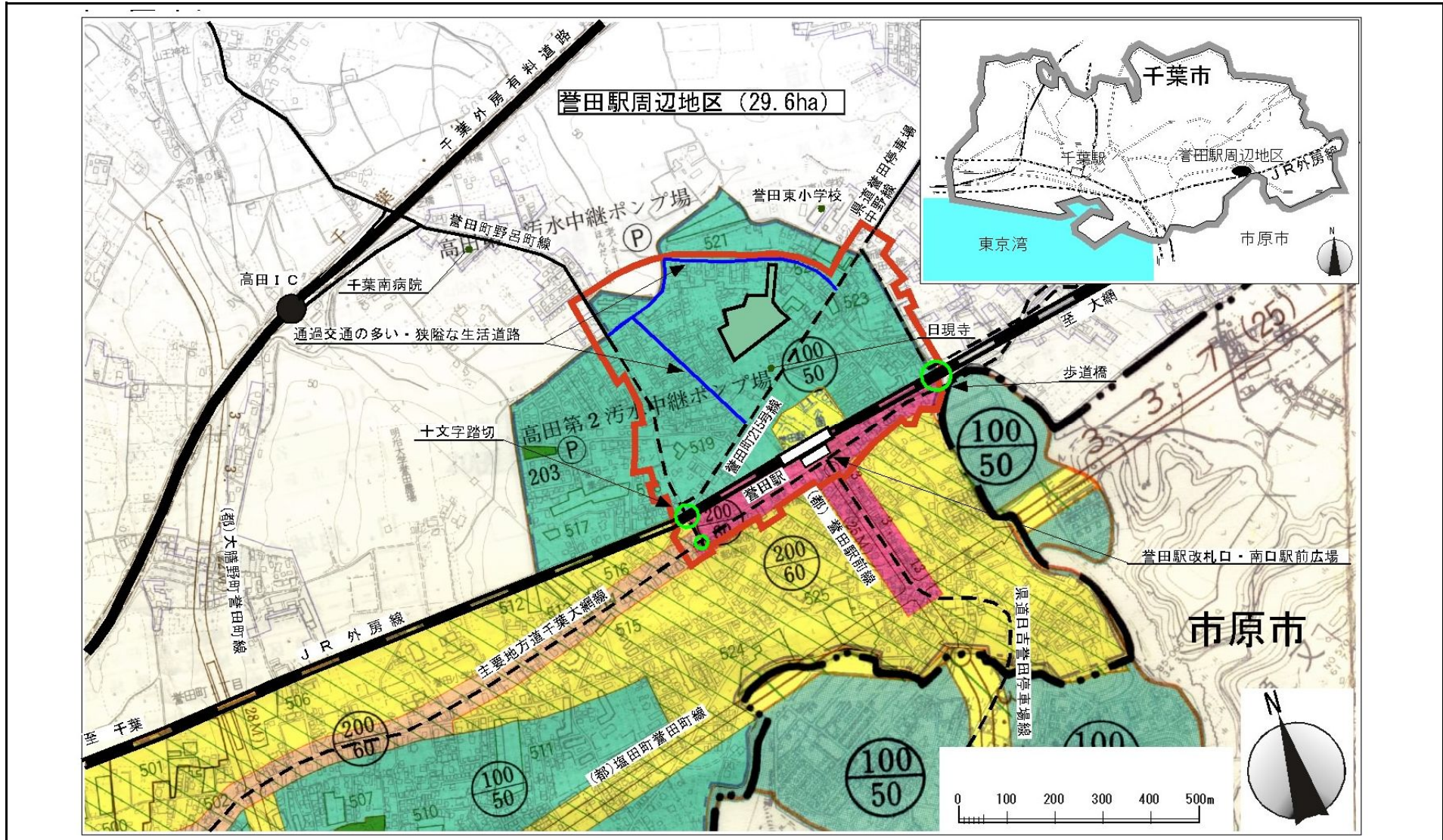
| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 |
|--------------|--------|-----------------------------------|--|------|------|
| | | | | 基準年度 | 目標年度 |
| 駅からの徒歩5分圏域 | (ha) | JR菅田駅から徒歩5分圏域 | 菅田駅北側からの駅アクセスを高め、利便性の高い快適なまちづくりを進める。 | 17.8 | 19.7 |
| 幹線道路の安全すれ違い率 | (%) | 歩行者と自動車とが安心してすれ違える歩道が整備された道路延長の割合 | 無秩序に市街地を形成され、狭い私道で、通過交通も多いことから、安心して歩ける歩行空間を確保し、居住環境の向上を図る。 | 43.9 | 54.6 |
| 居住環境満足度のアップ | (%) | アンケート調査による住民の居住環境に対する評価 | 駅北側の未成熟な都市基盤整備を推進することにより、利便性、防災性等の居住環境の向上を図る。 | 43.1 | 50.0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|---|
| <p>・交通機能の整備及び強化に関連して、 菅田駅へのアクセス道路の整備により、駅北口の交通機能の強化を図る。 市道菅田町162号線一方通行により、十文字踏切付近の交通渋滞を緩和を図る。</p> | <p>道路(地方道)(基幹事業/菅田町215号線、菅田町104号線、菅田町162号線)、 道路(街路)(基幹事業/菅田駅北口線)</p> |
| <p>・安全な居住環境の確保及び歩行者の安全確保に関連して、 市道菅田町215号線及び菅田駅北口線の整備により、狭隘な生活道路への通過交通を削減する。地区傍に小学校があるので、児童が安全に通学できる歩道が設置された幹線道路を整備する。 また、「千葉市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定経路を含め、重点整備地区内の主要道路における歩道整備を推進する。(歩行面の平坦性確保・透水性舗装・電線類の地中化)</p> | <p>道路(地方道)(基幹事業/菅田町215号線)、道路(街路)(基幹事業/菅田駅北口線)</p> |
| | |
| <p>その他</p> | |
| <p>上記の目標を達成するために、計画区域及びその周辺地区の地元住民と交通事業者で構成される協議会(傍聴可能)により、計画案に関する地元住民との意見交換・意見収集、「まちづくりニュース」の発行による計画概要・事業の進捗等の地元への情報提供を行いながら、地元住民の意見を反映させた事業展開を図っていく予定である。</p> | |

都市再生整備計画の区域

| | | |
|------------------------|-------------------|-----------------------------|
| <p>誉田駅周辺地区(千葉県千葉市)</p> | <p>面積 29.6 ha</p> | <p>区域 千葉県千葉市緑区誉田町2丁目の一部</p> |
|------------------------|-------------------|-----------------------------|



誉田駅周辺地区(千葉県千葉市) 整備方針概要図

| | | | | | | |
|----|---|--------|--------------------|--------------|---|--------------|
| 目標 | 大目標：誉田駅を核とした交通結節点の強化及び地域の生活環境や利便性向上 | 代表的な指標 | 駅からの徒歩5分圏域 (ha) | 17.8 (H21年度) | → | 19.7 (H26年度) |
| | 目標1：交通機能の改善整備及び強化 | | 幹線道路の安全すれ違い率 (%) | 43.9 (H21年度) | → | 54.6 (H26年度) |
| | 目標2：地区内の円滑な交通処理と安全な居住環境の確保 目標3：歩行者の安全確保及びバリアフリー化 | | 居住環境満足度のアップ (%) | 43.1 (H21年度) | → | 50.0 (H26年度) |

